

エアブラシでアクリジョン

Twitter : @kazz185

ブログ : <https://kazz185.work>

アクリジョン塗装環境（1/2）

- 模型部屋
 - － 6畳の小屋裏部屋
 - － 通常の居室より天井が低い（1.4m以下）なので狭い
 - － ファンヒータか乾燥機の使用で湿度がみるみる下がる……
- コンプレッサ
 - － L5（GSIクレオス）
 - － 圧力計付きのレギュレータMkIV（PS305プラチナセット付属）
- ハンドピース
 - － PS290プロコンBOY LWAトリガータイプ
 - ・ 口径0.5mm、ダブルアクション
 - － オプションのハンドグリップ（PS-290G）使用
- 塗装ブース
 - － 自作
 - ・ ベースはフタ付き衣装ケース
 - ・ 換気扇はFY-24BM6K（Panasonic）
 - － 38.5dBと静か（L5が） だけど缶スプレーも大丈夫
 - ・ 詳細はブログで（<https://kazz185.work/post/10/>）
- 乾燥機
 - － 食器乾燥機（山善）



アクリジョン塗装環境 (2/2)

- 温湿度計
 - EX-2717 (エンペックス)
- キッチンスケール
 - KJ-212 (タニタ)
 - 0.1gまで計測可能で、風袋機能付き
- うすめ液
 - アクリジョン エアブラシ用うすめ液
 - 中に攪拌ボール入ってる
 - 本資料内で単に「うすめ液」と書かれているものはエアブラシ用を指す
 - 筆塗りもこちらを使用
- お茶パック
 - アクリジョンをエアブラシで吹くときの最重要アイテム
 - ハンドピースのカップに塗料を入れるときにカップにかぶせて使います
 - トップバリュとダイソーを使ってみたけど、どちらも良さそう
- その他
 - タミヤの調色スティックを使用
 - クレオスのイージーカップで調色（でも最近紙コップも使ってる）
 - うすめ液はMr.スポイト（長）を使用して滴下



エアブラシでの希釈について

- 希釈に関して
 - うすめ液は、**よー————く振る**（白く濁ってるのが正常）
- アクリジョン
 - 塗料とうすめ液は、**1:0.84**
 - 実際は、キッチンスケールの精度もあって0.8～0.9の間だと思う
 - 塗料0.5gに、うすめ液0.42g
 - キッチンスケール上で塗料0.5g入れる
 - そこにうすめ液を0.9gになるくらいまで追加する
 - 別々に計って混ぜてないです
- アクリジョンベースカラー
 - 塗料とうすめ液は、**1:1.1**
 - ベースホワイトは、最近1.1
 - ベースグレーは1.2でないと詰まりそうだった
 - 自作のベースピンク（ホワイト95%+レッド5%）は1.2でした
 - 同じベースカラーでも希釈率は変えていく予定
 - 計り方は通常のアクリジョンと同様（上記参照）

エアブラシでの塗装とエア圧について

- 吹く前に**お茶パックでろ過**する
 - ビンを開け閉めする際に、フタの内側に固着した塗料カスなどがビン内に入ります
 - それらをろ過するのが目的です。
 - クレオスさんから公式な回答はありませんが、塗料の品質に影響しないはず
 - 塗料はビン底を調色スティックでえぐるように、よく混ぜて使う
- 低圧で吹く (**0.03MPa**)
 - クレオスさんが「乾燥の早い色材は、風量を落とすことにより乾燥を遅らせ、つまりにくくなる」(プロコンBOYのエアアジャストシステムの説明より) と言っている。
 - 乾燥の早い色材・・・？ アクリジョンのことかー(°Д°)ー
- 吹付けと乾燥を繰り返す
 - でてくる塗料の量はトリガーを引く量で調整するのではなく、ハンドピース後ろのニードルストッパーの締め具合であらかじめ調整しておき、トリガーは毎回フルで引く。
 - PS290のニードルストッパーを完全に占めた状態から1周より手前(330°?)まで緩めた状態
 - マステとマジックでマーキングしています
 - 乾燥は山善の食器乾燥機に任せる
 - ホコリ付き防止も兼ねてます
- Youtubeに動画をアップしてます (ベースカラー)
<https://youtu.be/DA5-EkQoN-c>